

～ All for one, One for all. ～



光の家

THE LIGHT HOUSE FOR THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設
東京光の家会報

— 211 号 —

2021 年 4 月 23 日発行

よくよくあなたがたに
言っておく。わたしの言
葉を聞いて、わたしをつ
かわされたかたを信じる
者は、永遠の命を受け、
またさばかれることがな
く、死から命に移ってい
るのである。

ヨハネによる福音書
第五章 二十四節



満開の桜をバックにバンザ〜イ！！

巻頭言

若草の緑がまぶしい季節となり
なりましたが、お健やかに
過ごしましょうか。

さて今月は新しく東京光の
家の評議員にご就任された澤
田評議員から外部寄稿を頂き
ました。

澤田評議員は長年に渡り光
バンド後援会会長として東京
光の家に係わって頂いており
ました。そして東京光の家が
「愛と奉仕の心で誠実な業務
を」と「安心と安全と希望の
生活には喜びを」とを通じて
利用者の笑顔と生きる喜びを
実現し、地域と共に発展して
いく方針に全面的支援を頂け
るとの心強いお言葉を頂きま
した。

今月も地域と共にSDGs
活動として点字教室の開催、
地元小学生との交流、買い物
弱者支援の日野デリカーによ
る弁当販売、手さぐりの作品
展等を掲載しておりますので
ご覧下さい。

(理事長 石渡 健太郎)

評議員の拝命を受けて

東京光の家評議員 澤田 研二



自分の立場を考えてのことです。ただ私はこれまで誰れにも負けない位の長年に及ぶ東京光の家との係わりがあり、その立場から微力ながらも応援できることがあるならと思ひ拝命いただくことと致しました。

このたび社会福祉法人東京光の家の「評議員」として選任され拝命いただきました。(選任は令和二年十月・理事会及び評議員選任・解任委員会の決議による)

従来より(平成二十九年一月)評議員選任・解任委員としての役割を頂いていましたが、さらに重責を感じる役職であり自身としては拝命頂くことに大きな重圧を感じ、受けて良いものかとの迷いがありました。何せ社会福祉法人に対しての専門的知識もあまり持ち合わせていない

長年の光の家との係わりに就いては、以前にも別の紙面でご紹介させて頂いたかと思ひますが、最初の出会いには昭和三十九年(一九六四年・前回の東京オリンピック)の四月でした。私の勤務先東芝が東京日野市に新しく事業所を開設した目と鼻の先、歩いて数分先に光の家があり、当時としても大変大きな立派な福祉施設で驚きました。それ以来五十数年になります。当初は東京光の家が行う様々なイベントへの協力として

運動会やマラソン大会に体育館・グラウンド・工場内の通路を使つての行事が行われ、その窓口として交流を深めました。また会社周辺の地域の皆さんにも開放し、二万人近くの人達が集い賑わう「東芝日野まつり」には光の家の園生の皆さんも大勢参加頂き楽しんで頂きました。

さらには「光バンド」との係わりも大変長く、光バンドの前身「正秋バンド」が結成され、日野市民会館大ホールで最初のコンサートが開催された平成二年(一九九〇年)十二月でしたが、この開催に合わせ「愛のサウンド後援会」が結成され、初代会長に就任された小山良悟会長から「後援会を作りたいので一緒に応援してくれないか」との声かけを頂き、何かと縁の深い東京光の家に所属するバンドならと迷うことなく応援することを決めました。

折りしも日野市民会館大ホールでの第一回のコンサート『90・

愛のサウンドフェスティバル「映画と音楽の集い」を拝聴した直後の感動冷めやらぬ時でもあり勇んで入会した事を覚えています。

それにしても早いもので、以来三十年を越える係わりとなり、平成二十二年からは三代目の後援会長を務めさせて頂いています。

東京光の家百年の歴史の中で私が関わった期間がすでに五十年を越えています。今回さらに新たな「評議員」を拝命し、微力ながら、今後も応援してまいります。

また、石渡理事長が百周年記念誌の中で訴えている「愛をつなぐ」そのために光の家の基本方針にある「愛と奉仕の心で誠実な業務を」と「安心と安全と希望・生活に喜びを」といったいずれも利用者の笑顔と生きる喜びに繋がる、そして地域と共に発展する光の家の方針に全面的支援をして参る所存です。

東京光の家のコロナウイルス対策
抗原検査・PCR検査を積極的に実施しています

東京光の家では、職員をはじめ、外部より光の家に来る方々の消毒や検温実施など、新型コロナウイルスの水際対策を行い、感染を防いでまいりました。

昨年末頃までは、無症状では新型コロナウイルスの検査を実施してもらったことは難しかったのですが、光の家では水際対策を更に高めるため、独自で検査キットを購入し、外部からの来訪者などに検査を実施する試みを十二月より始めました。



コロナ検査の様子

年末には、自宅外泊を行う利用者と家族に対し、外泊終了後の帰園時に実施するため「抗原検査キット」を独自で購入し、検査を実施する試みを始めました。

この抗原検査キットは、鼻腔内の粘膜で行うもので、専門施設で行うPCR検査より若干精度は低いものの、十五分ほどの時間で結果が判明するものです。

年末年始の外泊帰園時には、利用者とそのご家族が、無症状

ながら抗原検査陽性を検出することがあり、入館前に対応することができました。

その後、唾液で判定するタイプのPCR検査キットも独自購入、検査を開始し、三月には東京より無償のPCR検査キットも届くようになり、利用者・職員は、月に複数回の検査を受けることができるようになりました。

このように、利用者に対して、感染の早期発見と適切な対応が可能となり、職員も安心感を持ってサービスの提供を行うことができています。



施設で購入のPCR検査キット



東京都からの無償PCR検査キット

第四十六回
創立者秋元梅吉追悼集会

令和三年二月十日（水）

今年も東京光の家の創立者、秋元梅吉先生を追悼する会が開催され、石渡理事長より「創立者の志」と題したお話しがありました。

今年には新型コロナウイルスの感染防止のため、各施設にそれぞれ会場を設置し、リモートにて全員が参加する新しい形の追悼集会となりました。



創立者追悼集会の様子

令和二年度
締めくくりの会
 令和三年三月一八日(木)～二四日(水)

新型コロナウイルス対策を十分に実施した中で、今年度も東京光の家各施設にて「締めくくりの会」が開催されました。マスク着用、換気、消毒、短時間での開催を始め、会食は会場を分散して、利用者の皆さんが楽しみな美味しい食事をいただきました。

またお楽しみ会では各施設ならではの趣向を凝らしたプログラムが披露され、一年の成果を発表しました。今年度はコロナ対策に終始した一年となり、新しい行事の在り方を模索した年になりました。新たな年度は、日頃お世話になっているボランティア、保護者の方々にも多く参加して頂き、開催できることを祈ってやみません。一先ず無事に一年を締めくくることが出来ました。どうもありがとうございました。



新生園「納め会」



栄光園「みのりの会」



神愛園「感謝会」



就労ホーム「結の会」



俳句短歌の交流会

昨今のコロナウイルスの影響で暫く中止となっていた行事ですが、今回初めてリモートで開催することが出来ました。

久し振りの俳句短歌の会で他施設の方と触れ合ったり、二部ではビンゴ大会もリモートで行い利用者の皆さんも楽しい時間を過ごすことが出来ました。

第三五回東京救護部会
合同俳句短歌の会
 令和三年二月二五日(木)
 会場・光の家会議室



光の家SDGs活動 皆が生きやすい社会を目指して

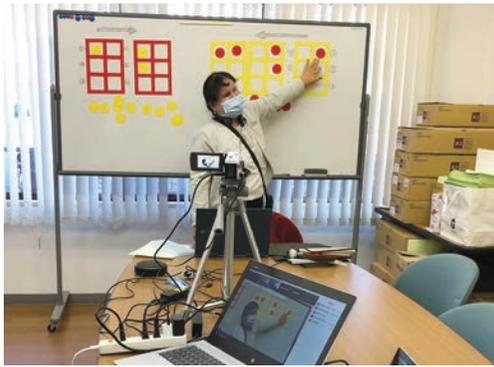
光の家栄光園の菊地美由紀職員が、日野市社会福祉協議会等の要請を受け、市内各所で障害に対する理解を促進するための活動を行っています。

菊地職員は、視覚障害を持つ立場から、これまでも市内の小学校等で授業を行うなどの活動を行ってきましたが、今年になってからは、日野市広報誌「広報ひの」の誌面で、日常生活に

ついでの紹介記事が掲載されたり、日野市社会福祉協議会主催のオンラインフォーラムで、パネリストとして出演、自身の体験や家庭生活の紹介などを通して、障害を持つ人に対する無意識の偏見について、話をしました。

また、日野市の市役所職員・公民館等文化施設職員向けの研修動画にも参加の依頼があり、撮影が行われました。

SDGsの目標の中には、「4. 質の高い教育をみんなに」や「10. 人や国の不平等をなくそう」などが掲げられています。菊地職員の活動は、障害の当事者が、質の高い福祉教育を通して、皆が生きやすい社会（共生社会）の実現を目指す活動として、ますます注目を集めるのではないのでしょうか。



オンラインホワイトボード点字指導



黒板で点字指導



福祉のつどい動画に出演中の菊地職員



光の家SDGs活動 日野市立滝合小学校 かわせみ学級との 交流イベント

令和三年三月九日(火)

東京光の家地域貢献活動室では、日野市立滝合小学校の特別支援学級「かわせみ学級」との交流イベントに参加してまいりました。

新生園、栄光園、神愛園、就労ホームから、利用者の方が一人ずつ、計四名で滝合小学校を訪問し、施設の紹介を行ったり、花の苗を植えるなどの活動を行いました。



きれいな花が咲きますように！

令和三年度
新任職員紹介



今年度は東京光の家に三名の
新任職員が加わりました。

三名ともフレッシュユでやる気
に満ちあふれています。どうぞ
光の家に新しい風を吹き込んで
ください。

職場の皆様どうぞよろしくお
願いします！



栄光園 三島 立 ルーテル学院大学卒



新生園 鈴木 智華 東京国際大学卒



新生園 新田 美穂 山梨大学卒



日野デリバリーカー



日野市立病院前の弁当販売

一月より日野市内の飲食店や
事業所が中心となり、「日野デリ
バリーカー事業」が始まりました。
これはコロナ禍において、住
み慣れた地域で安心して暮らし
続けることのできるよう新しい生
活様式に即して地域内消費喚起
による経済活性化と健康の課題
解決を図ることを目的としてい
ます。また、市内飲食業者の新
たな販路拡大、在宅ワークや感
染症予防のため買い出しに出かけ
ることが難しくなっている方々な
どの居場所づくり、地域の共食
の機会づくりなどを実施してい
ます。お弁当や総菜だけでなく、
その日に収穫した新鮮野菜や和・
洋スイーツなど市内の有名なお
店が集まって近所まで来てくれ
ると地域の皆様から大好評です。
光の家からはカナンで作ったお弁
当やお惣菜を販売しています。



光の家SDGs活動

日野デリバリーカー販売に
参加しています

光の家就労ホーム



令和三年度

光の家就労ホーム 入所式

令和三年四月一日(木)



光の家就労ホーム入所式 (5名)

桜が満開の春、就労ホームに新しい仲間が五名加わりました。この五名の新規利用者は、全員が七生特別支援学校を卒業してきており、とても仲がよさそうです。先輩利用者にも七生特別支援学校の卒業生が大勢いるので、困った時にはきつと助けてくれると思います。学生から社会人となりますが、みんなの成長を楽しみにしています。

中堅層研修

令和三年一月二十七日(水)
二月十日(水)
三月十日(水)



中堅層研修の様子

光の家では、今年度更に力を入れていく職員研修の中でも、採用三年目以上の職員を対象とした「中堅層研修」を三回に分けて実施しました。各施設の職員が自分の施設の紹介や現在直面している課題などを互いに話すことで、他の施設のこともっと深く知り、広い視野をもって利用者支援に当たることができるようになる事を主眼とした研修となりました。

光の家鍼灸

マッサージホーム

真心をこめた施術で、皆さまの健康に奉仕させて頂きます。

受付時間 (電話予約制)
午前九時～午後七時半

定休日 毎週水曜日

電話

〇四二(五八二)七二〇九

料金

はり 四、〇〇〇円
マッサージ 二、五〇〇円

三〇分 七〇〇円
一〇〇分 五、〇〇〇円



毎月1日はサービスデー、500円割引

寄付者名簿

期間：令和三年一月十三日～三月三十一日

- 聖書を読む会様 米 5kg
- レモン 二九個
- 佐々木 晴美様 キーボード 一個
- 船橋 敬様 生かりんシロップ漬け 一五個
- 鈴木 京子様 りんご 二六個
- 伊藤 和子様 いちご 八パック
- 土屋 いち子様 大根 四〇kg
- 青木 信利様 玄米 三〇kg
- 山下 実様 消毒液 二〇個



※紙面の写真は、すべてご本人の許可を得て掲載させて頂きました。



「笑顔」の陶芸作品に触れる利用者



手芸作品に触れる利用者



第24回 手さぐりの作品展
籐細工の前でハイチーズ!!

今年度もイオンモール多摩平を会場とし、作品展を実施させていただきます。新型コロナウイルス対策として、まずは施設の利用者と一般の方の見学時間帯を分け、会場内も一方通行の見学

ルートを作りました。消毒はもちろんのこと、来場者の方には検温をお願いしました。今回のテーマは「笑顔」と決め、陶芸の作品では笑った顔を作成しました。新型コロナウイルスの終

息が見えず、自粛生活を余儀なくされていた時だからこそ、皆さんを笑顔にしたいと考えました。このような中、三日間の開催で多くの方に来場して頂き、大成功に終わることができました。

この作品展を通して、社会が、SDGs に掲げられている「人や国の不平等をなくそう」に繋がることを願っています。



光の家SDGs活動 手さぐりの作品展

令和三年二月十九日(金)〜二十一日(日)
会場・イオンモール多摩平の森イオンホール

大人の仲間入り

新成人を祝う会

令和三年月十日(月)
会場・東京光の家講堂



多くの利用者が成人を迎えました

発行 一九一〇〇六五
 東京都日野市旭が丘一七
 社会福祉法人 東京光の家
 電話 〇四二(五八)二三四〇
 FAX 〇四二(五八)九五六八